

# 令和2年度日高地区の研究活動

研修担当理事 様似町立様似小学校  
校長 松田 陽一

## 1. はじめに

日高地区校長会は、7町の公立小・中学校に所属する42名の会員で組織されている。年1回の管内公立小・中学校長研修会では、基本主題である「自ら未来を拓き、ともに生きる豊かな社会を創る日本人の育成を目指す学校教育の推進」の達成に向けて、設定した研究計画に基づいた実践交流・検証を行う予定である(11月27日開催予定であったが、今年度は延期)。本年度は、2ヶ年計画の1年次で、研究課題「学習指導要領実施に向けた学校経営ビジョンの実現を目指す校長の指導性の発揮～カリキュラム・マネジメントに基づく『主体的・対話的で深い学び』の実現を目指した取組を通して～」とし、個人研究と組織研究を関連付けて進めている。また、各町校長会では地区校長会研究課題や学校経営の課題について、定例の校長会の中で協議をし、学校教育の維持向上に向けた研鑽に努めている。



## 2. 研究計画

### (1) 研究課題

「学習指導要領実施に向けた学校経営ビジョンの実現を目指す校長の指導性の発揮」  
～カリキュラム・マネジメントに基づく「主体的・対話的で深い学び」の実現を目指した取組を通して～

### (2) 研究対象

学校経営ビジョンの実現に向けた校内組織の活性化と教職員の資質向上

### (3) 研究視点

- ①自校の経営ビジョンを有効に機能させるための組織マネジメントにおける校長の指導性について研究する。
- ②組織マネジメントを研究対象とするにあたり、組織におけるマネジメントの視点を明確にし、その向上に取り組む。
- ③研究内容(取組)については、これからの時代に必要な資質・能力の育成に向けた「主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善」及び「カリキュラム・マネジメント」により一層焦点化する。

### (4) 研究内容

- ①学校経営ビジョンの実現に向け、学校経営方針(学校経営計画)の共有化・具現化のための組織体制の確立について。
- ②学校経営ビジョンの実現に向け、学校経営方針(学校経営計画)の共有化・具現化を行う中で、教頭や主幹教諭、主任教諭や一般教諭等を有効に機能させる方策の確立、組織を有効に機能させるための力量の獲得について。
- ③学校経営ビジョンの実現に向け、学校経営方針(学校経営計画)の共有化・具現化を行う中で各学校の取組や工夫、学校の実行力の工夫、教職員の意識改革を進めるための具体策の確立について。

- ④学校経営ビジョンの中でも、特に資質・能力の育成の中核となる「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた各学校における取組や施策・工夫について。

### 3. 研究活動の概要

- (1)全連小各種委員会調査への協力
- (2)日高地区校長会ブロック別研修会の開催
- ・西部ブロック 8月 3日(月) 会場：日高町門別町民センター
  - ・中部ブロック 8月 4日(火) 会場：新ひだか町立高静小学校
  - ・東部ブロック 8月 24日(月) 会場：様似町立様似小学校
- (3)日高地区校長会教育経営・法制研究会
- 期 日 令和2年8月5日(水)
  - 会 場 新冠町レ・コード館
  - 講 和 北海道教育庁日高教育局義務教育指導監 橋本 雄一郎 様  
テーマ「“働き改革”は“学び方改革”～ポスト・コロナの学校経営～」
- (4)日高地区校長会課題別研修会
- 期 日 令和2年9月2日(水)
  - 会 場 新冠町レ・コード館
  - 講 和 北海道教育庁日高教育局長 小原 直哉 様  
テーマ「学習指導要領の全面実施に向けて」
- (5)令和2年度日高管内小・中学校長研修会(延期)
- 期 日 未 定
  - 会 場 未 定
  - 講演1 北海道教育大学教育実践コーディネーター 三井 哲 様
  - 講演2 北海道教育大学大学院教育学研究科准教授 宮原 順寛 様
  - 分科会 小・中グループごとによる研究課題についての実践交流・協議
- (6)第63回北海道小学校長会教育研究大会オホーツク・北見大会への参加
- 期 日 令和2年9月 紙上交流にて実施
  - 第3分科会「研究課題：学校教育の充実を図るための評価・改善と校長の在り方評価・改善」では、様似町立様似小学校 松田陽一校長が提言発表を行った。
  - 参加者16名が意見質問を提出した。
- (7)第72回全連小研究協議会京都大会への参加
- 期 日 令和2年10月30日(金)
  - 紙上発表

### 4. おわりに

今年度はコロナ禍の中、感染防止対策を講じながら、地区校長会の研修部長を中心に各種の研修会を実施してきた。各種研修会では、参加人数の制限や時間短縮などもあったが、会員が積極的に職能の向上や今日的教育課題への研鑽を深める研修機会となった。自校の学校経営や新学習指導要領の全面実施に際してのスピード感ある取組など、高いアンテナを掲げ、情報交流をすることができた。日高管内では、校長の大量退職期の真っ只中ではあるが、管理職受検者が年々増えている傾向にあり、着々と管理職候補者の育成が進んでいる。一方で、ミドルリーダーや次期ミドルリーダー候補の育成が急務となっており、人材育成についても大きな課題として捉え、研究活動を充実させていきたい。